

別記

第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事		2011年 7月25日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都府長岡京市東神足2-1-1		氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 日本輸送機株式会社 取締役社長 ニノ宮 秀明
環境マネジメントシステムの名称	ISO14001:2004/JIS Q 14001:2004	
適用範囲	<ul style="list-style-type: none"> ・日本輸送機株式会社 ・京都工場、滋賀工場、オンサイト研修センター ・ニチュマンナリー株式会社 	
導入年月日	2005年 9月 16日	
認証番号	JQA-EM4909	
基本方針	添付のとおり（環境マネジメントマニュアル抜粋）	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	<p>2011年度～2013年度の目標について次のとおり定めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製品における環境負荷を低減する。 ・事業活動で発生する廃棄物の最終処分量を2013年度に2000年度比43%に削減する。 ・2020年度のCO2削減量を1990年度比25%減とする。 ・製品輸送におけるCO2排出量を2013年度に原単位あたり年平均1%削減する。 ・梱包材を2010年度目標値より15%低減する。 ・環境法、社会的要請を当社のEMS活動に反映させる。 	
目標を達成するための取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーン調達に対応しうる体制整備 ・一般廃棄物の分別によるリサイクル促進、リユース促進 ・省エネ改善、生産効率向上、環境投資 ・定期便業者見直し、梱包材・緩衝材の低減 	
目標を達成するための取組の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ効率向上、リサイクル率向上、REACH規則への対応準備 ・RPFへのリサイクル継続、機密書類の一部をシュレッダー処理に変更し、クッション材として利用 ・省エネ啓蒙、設備チョコ停改善、照明器具・変圧器の高効率化 ・積載能力の高いトラック便利用、フェリー利用促進 	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーン調達に対応しうる体制整備については、計画どおり整備中 ・燃えるごみ（一般廃棄物）廃棄量については計画どおり達成 ・CO2排出量については未達 ・トラックの製品積載率については未達 	
事業活動に係る法令の遵守の状況	環境関連法規制登録簿を作成し、毎年、順法性評価を行うとともに、適宜、法規制登録簿の見直しを実施している。 これまで違反、行政当局からの指摘はなかった。	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	評価及び見直しについては年1回実施している。 平成22年度の環境目標達成状況に基づき、平成23年度の環境目標を定めている。	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。